

【イベント】GBRC EXPO 2025（2025年度建築技術セミナー）大阪会場 開催報告

2025年8月22日（金）にマイドームおおさかにてGBRC EXPO 2025（2025年度建築技術セミナー）を開催しました。今年度、大阪会場では従来の講演形式に加えて来場された方が体験が出来る『体験型イベント』を初めて実施し、おかげさまでこちらも盛況となりました。その様子の一部を紹介します。

<地震時の室内シュミレーション TAFT®>

TAFT®は外部出展が今回初めて。貴重な内容となりました。



振動椅子、ハンドデバイスの体験ともに列が出来る盛況でした。

<耐震天井下地（OSシーリング）>



補強した天井はほとんど揺れないことを体感できました。

天井を実際に揺らせる模型に来場者の方は驚かれ、大変興味を持って頂けました。

<3Dプリンタで作る 風洞実験模型ってこんなもの!>

風洞模型について説明、紹介しました。



風洞試験の模型、試験動画は設計者の方以外の方にも大変興味を持って頂けました。

<3Dプリンター、3Dスキャナー実機体験会>



製作の進捗を小まめに見に来られる方もおられました。

建築物の模型を3Dプリンターで製作する実演で、カタログを持ち帰られる方が多くおられました。

【イベント】GBRC EXPO 2025 東京会場

GBRC EXPO 2025 東京会場を開催いたします

10/17に東京会場（一橋大学 一橋講堂 中会議場）にて開催します。
特別講演（脱炭素社会に向けた施策（国土交通省）、低炭素建築への取り組み（(株)大林組））及びGBRCによる技術講演を致します。

皆様是非お誘いのうえ、ご参加お願いいたします。

申込：https://www.gbrc.or.jp/training/gbrc_meeting/

【お知らせ】ワンストップサービスの強化

GBRCでは大臣認定にかかる性能評価（超高層等、避難関連）、防災計画評定、建築確認検査、省エネ適判等の建築物の技術審査を一括で対応する『ワンストップサービス』を用意しております。



- 👉 案件の手続き、管理がしやすい
- 👉 スケジュールの融通が利きやすい
- 👉 問い合わせ、相談がしやすい

各種申請の事前相談として性能評定課、確認検査課へご相談を頂いておりますが、両課でご相談内容をアプリで共有することでよりタイムリーな情報共有を進めております。

今まで以上にご相談に対してスピード感を持って対応することが可能になりますので、是非GBRCへ一括申請の程どうぞよろしくお願いいたします。

【解説】大臣認定書の押印廃止と電磁的交付

建築基準法施行規則の改正により、10月1日以降に大臣認定書が交付される案件は大臣認定書の押印が廃止になり、これに伴い大臣認定書の電磁的交付（pdf送付）が開始になります。



原則、電磁的交付（pdf送付）です

紙交付をご希望の場合は、大臣認定申請書類の確認連絡時にお申し出ください。なお、紙交付の場合は従前の黄色い厚紙でなく、国交省で使用している再生紙になります。また、紙交付でも押印はされません。

※過渡期に該当する9月16日より前に大臣認定申請をしている案件で、10月1日以降に大臣認定書が交付される案件は再生紙による紙交付（押印なし）のものをお渡しします。

（補足）

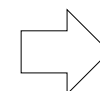
大臣認定書の押印廃止による、真正性の確保（本物であることの確認）は大臣認定データベースの確認等により担保することとなり、あくまでシステム上にあるものが原本という位置付けとなります。システム上の確認が必要な場合は当法人へご連絡の程お願いいたします。

【解説】大臣認定申請費用の変更

国土交通省への申請手数料が以下の通りに変更になります。

<変更費用>

現在：¥ 20,000



変更後：¥ 40,200（紙申請）

¥ 19,500（電子申請）

<変更時期>

新規、計画変更：2026年4月 軽微な変更：2025年8月

【認定情報】審査期間

●認定審査期間の実績(2025.7月～9月) (性能評価期間は含みません)

	標準期間※1	実績
新規	2ヶ月	52～68日
新規 (特定天井あり※2)	2.5ヶ月	—
計画変更	1.5ヶ月	39～40日
計画変更 (特定天井あり※2)	2ヶ月	41日
軽微な変更	1.0ヶ月	23～44日※3
軽微な変更 (特定天井あり※2)	1.5ヶ月	—

—は該当期間内での実績なしを示す

※1 標準期間は認定申請～認定書交付までの標準日数を表しています。

※2 特定天井がある場合は「通常の審査期間 + 0.5ヶ月」を目安としてください。

※3 質疑対応がお盆期間を挟んだため通常より時間を要しています。

【お知らせ】計画変更の手続きについて

性能評価取得案件を計画変更する場合の手続きをまとめましたのでお知らせします。なお、原則ですので、内容に応じて個別にご相談をお願いいたします。

①時刻歴応答解析を行う場合

変更項目一覧、変更前後図、新規時の概要書から変更になる部分等をご準備頂き、受付委員会で設計者の方にて計画変更の内容をご説明頂きます。受付委員会後には部会を開催いたします。また、電算出力結果もご提出頂く必要があり、構造図、意匠図、電算出力結果の整合確認及び計算書の確認を実施します。

②時刻歴応答解析を行わない場合

(主要構造部材の全体をPCaへ変更する場合等)

変更項目一覧、変更前後図、検討書等をご準備頂き、受付委員会で事務局にて計画変更の内容を説明致します。受付委員会後には原則部会開催はせずに書類審査となります。

③特定天井が追加される場合

変更項目一覧、変更前後図、特定天井の技術基準に沿った検討書等をご準備頂き、受付委員会で設計者の方にて内容をご説明頂きます。受付委員会後には部会を開催いたします。



【編集後記】

自宅近辺がインバウンドのため外国人観光客であふれており、冗談ではなく日本人の方を見かけることがほとんどなくなってきました。体感、9割外国人観光客です。近々で隈研吾の設計事務所がデザイン監修したホテルがオープンになり、さらに外国人観光客が増えそうです。(1泊いくらするのでしょうか…) (T)



発行者：一般財団法人 日本建築総合試験所
評価判定センター 性能評定課
担当：甲谷、鳥谷、勝間
TEL：070(7811)0607 FAX：06(6966)7680
E-mail：seinou@gbrc.or.jp